

SUNがなネット。

防災も地域づくりも同じ
「人とのつながり」が
いざという時、役に立つ

松が丘小学校区まちづくり
協議会顧問(防災リーダー)
菅野 英隆さん
Hidetaka Sugano 川除



ラジオ・ハニーFMでもっと詳しく聴けます！【4/18 15時10分～】

「防災も地域づくりも原点は同じ。人とのつながりがいざという時、役に立つんです」1月、松が丘小学校区内の学校や地域住民など350人が参加した大規模な合同防災訓練で中心的な役割を担った菅野英隆さん。防災に取り組みきつかけとなったのは、54歳の時に経験した阪神・淡路大震災。当時は、家と会社を往復する日々。定年前に、「自分は何かしたい？何が出来る？」そう考えていた矢先のことだった。「この恐ろしい経験を無駄にしたい。このために自分ができることをやろう」休日に人と防災未来センターで展示解説のボランティアを始め、防災士の資格も取得。平成23年には「さんだ防災リーダーの会」会員になり、防災の知識を深めた。その後、自治区の役員を務め、地域の防災にも精力的に取り組みように。コロナの影響で延期を重ねたが、数年越しの思いが実り、今回防災訓練を実施することができた。「防災のことも学んでほしかったけど、まず地域の人と人が出会う、つながるきっかけにしたかった」と菅野さん。地域内でのつながりが希薄になっていく中、コロナ禍で一層加速していると感じていた。「人は一人では生きていけない。だから人とのつながりを大切にしてほしい」と繰り返す。



松が丘校区防災訓練の運営を一緒に行った伊賀 家光さん

そして興味があれば何でもやってみたい性格。地域の役員だけでなく、「さんだ防災リーダーの会」や「さんだ観光ガイド」「NPO法人歴史文化財ネットワークさん」など、活動の範囲は多岐に渡り、スケジュール帳はびっしり。「何でも自分で出来るの？」と聞かれるが、自分でもよく分からない。でも色々な人と接していると思わぬ発見がある。それが面白い。「地域の人が楽しく、みんな笑顔で暮らせるように。そこに一緒に関わってほしい」というのが活動の原動力だ。「自分ができること、やってみよう。何でもいい。一人でも多くの人に地域と関わってほしい。一緒に活動する人、想いを継いでくれる人を見つけるのが今の私の努めです」だから伝え続ける。人とのつながりを大切に——防災も地域づくりも原点は同じだから。

消費生活情報

**そのメール本物ですか？
偽SMS・メールにご注意！**

【相談事例】
デビット機能付きキャッシュカードを契約している銀行から「カード会員サービス」というメールが届き「手続きしないとサービスの利用を制限する」と記載されていた。URLからアクセスしてカード番号、電話番号を入力。返事がないので、記載の番号に電話をかけたところ住所と名前を聞かれたので伝えた。不審に思い銀行に問い合わせたら個人情報盗み出すフィッシングメールと言われた。

【アドバイス】
・SMSやメールに記載されたURLや電話番号に安易にアクセス、連絡しないでください。
・フィッシングサイトにアクセスしてしまっても個人情報は絶対に入力しないでください。
・フィッシングサイトにID、パスワードなどを入力してしまったらすぐに変更し、カード会社や銀行、警察などに連絡しましょう。

三田市消費生活センター(559-5059 FAX 563-8001)
相談受付=月曜～金曜、第2・4土曜 10時～17時
休所の場合は「消費者ホットライン」188番(いやや！)

防災・防犯・交通安全

**新生活がスタート！
交通事故に気をつけて安全に！**

新しい生活が始まる4月。交通事故の加害者や被害者にならないために、次のことを注意しましょう。

歩行者	自転車	自動車
横断歩道の利用、目立つ服装と反射材の活用	信号や一時停止場所での停止、左側通行の徹底	ゆとりと思いやりを持った冷静な運転とシートベルト

【子どもの動きに注意しよう】
子どもは、交差点での飛び出しや道路で急に立ち止まるなど予測できない行動をとることがあります。運転者は、学校や幼稚園の近く、通学路を走行する際、十分に速度を落としましょう。特に、学校や幼稚園付近は注意しましょう。

【歩行者の確認】
横断歩道では歩行者などがいないことが明らかな場合以外は「徐行運転」、歩行者などが横断しようとする時は必ず停止しましょう。また、歩行者にわかるように「渡ってください」という横断合図(身振りやアイコンタクト)をするようにしましょう。
問い合わせ=三田警察署(563-0110 FAX 562-0110)

共生

**手話にチャレンジ！< Vol.22 >
「学校」の手話を学ぼう**

今月は「学校」の手話です。手話は聞こえない人と聞こえにくい人とコミュニケーションを図るための第一歩。皆さんも一緒にやってみましょう！
問い合わせ=障害福祉課(559-5075 FAX 562-1294)

動画を観てやってみよう▶

動画では会話編など、実践的な使い方も紹介しています！

小学校
漢字の「小」

中学校
漢字の「中」

高校
学生帽の白線をイメージ

消防・救急・救命

**あなたの家は大丈夫？
コンセントの火災に注意しましょう**

住宅火災において、発火源別で死者数(放火自殺者などを除く)が多いのは、たばこ、電気器具、ストーブです。家の中には思わぬところに発火リスクが潜んでおり、気のゆるみの不注意から火災が発生する可能性があります。他人事だと思わず普段から点検・清掃を行い、火災を予防しましょう！

- 防火対策のポイント**
- ✓コンセントの許容量を超える「たこ足配線」に注意する
 - ✓定期的につ着したホコリなどを掃除する
 - ✓傷のついたコードは交換し、束ねた状態で使用したりコードの上に重たいものを置いたりしない

問い合わせ=消防本部予防課(564-7308 FAX 563-1230)